

証券コード：4569

健康はキョーリンの願いです。

第62期 中間株主通信 | 2019年4月1日～2019年9月30日

Kyorin 



キョーリン製薬ホールディングス株式会社

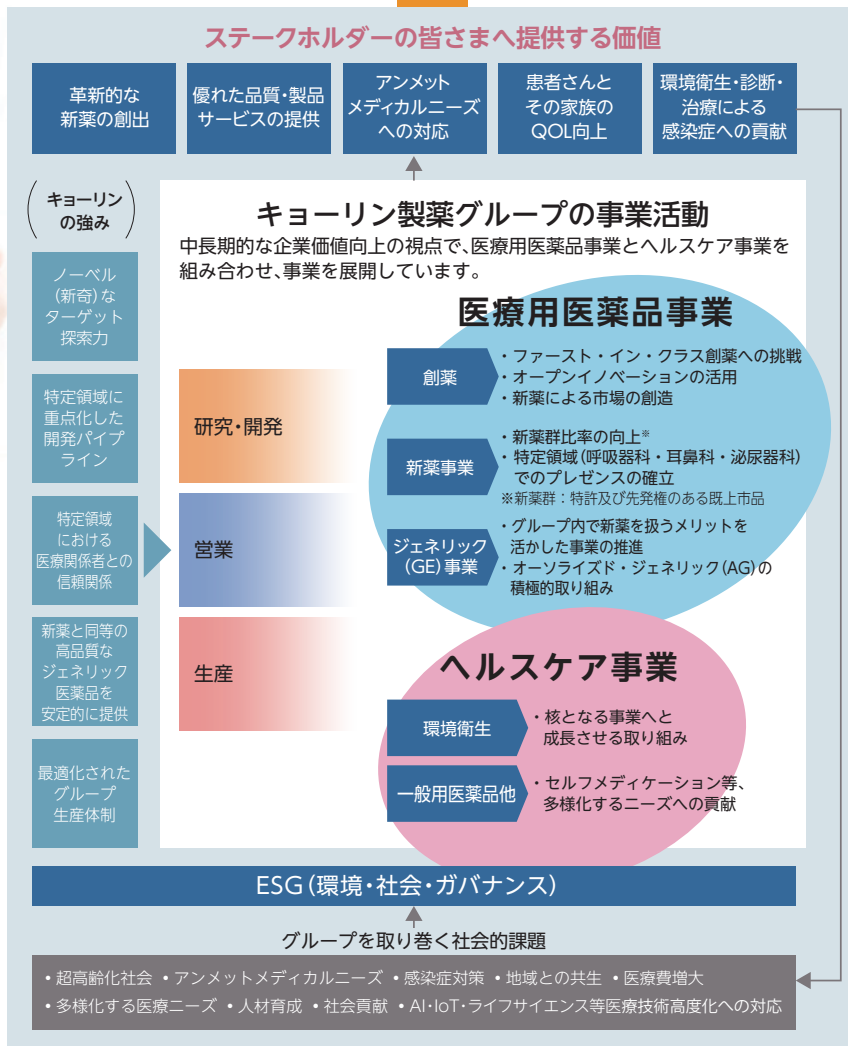
キョーリン製薬グループが 目指す企業像と 価値創造プロセス



キョーリン製薬グループは、創業100周年となる2023年を見据えた長期ビジョン「HOPE100」を掲げ、「健康生活応援企業」を目指しています。私たちの価値創造の源泉は、世界の人々の健康に貢献する新薬を継続的に創出・提供することです。

医療用医薬品事業を中核に、ヘルスケア事業を組み合わせることで事業リスクを分散するとともに、ESG（環境・社会・ガバナンス）の視点から社会課題への対応を図ることで、持続的な成長を成し遂げます。

長期ビジョン 「HOPE100」 健康生活応援企業への進化を目指す



新経営体制のもと中期経営計画「HOPE100－ステージ2－」をやり抜き、「変革」を確実に実行し、持続的な成長を成し遂げます。



代表取締役会長 穂川 稔 代表取締役社長 荻原 豊

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの2019年4月1日から2019年9月30日までの第62期第2四半期(以下「中間期」という)につきまして、事業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念の具現に向け、グループの中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周年(2023年)を見据えた長期ビジョン「HOPE100」を策定し、中長期的な視点で企業価値向上に努めております。

製薬産業を取り巻く環境は、社会保障費の歳出抑制策が強力に推進される中、薬価制度の抜本改革が実施され、これまでに経験したことのない劇的な変化が想定以上のスピードで進んでいます。

当社グループにおいては、2019年度は中期経営計画「HOPE100－ステージ2－(2016～2019年度)」の最終年度となることから、次期中期経営計画の策定・実行は、次代を担う新体制で臨むことが最適と判断し、代表取締役会長に穂川稔、代表取締役社長に荻原豊が就任し、2019年6月より新経営体制をスタートさせました。

2019年度は、この新たな体制のもと、グループ全社員が一丸となってやり抜く力を発揮し「HOPE100－ステージ2－」の目標を完遂するとともに、持続的成長を果たすべく「変革」の確実な実行と、長期ビジョン「HOPE100」の仕上げとなる新中期経営計画「HOPE100－ステージ3－」の策定に取り組んでまいります。

引き続き、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

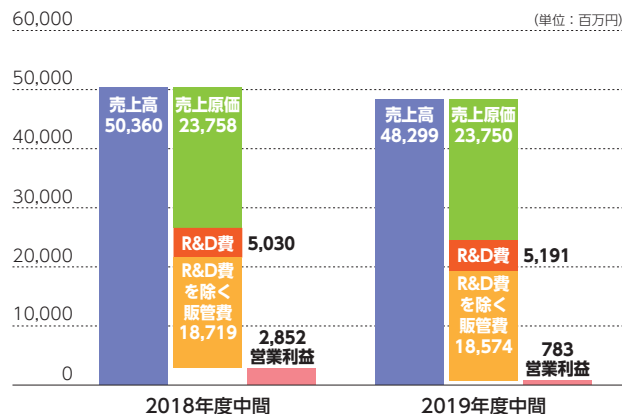
当社グループでは、中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周年に当たる2023年を見据えた長期ビジョン「HOPE100」を2010年に策定しました。最終年度までの期間を3つのステージ(ステージ1:2010～2015年度、ステージ2:2016～2019年度、ステージ3:2020～2023年度)に分け、中期経営計画「HOPE100－ステージ2－」を現在推進しています。

▶ 当中間期の概況

当中間期における国内医薬品業界は、社会保障費の抑制を背景とした薬価制度の抜本改革や後発医薬品の使用促進等の薬剤費抑制政策とともに10月の消費税増税に伴う薬価改定(業界平均:2.4%)が実施された影響により、引き続き厳しい環境が継続し、当社グループに関連する市場の成長は低位で推移しました。

こうした環境の下、長期ビジョン「HOPE100(～2023年度)」の実現に向けて策定した中期経営計画「HOPE100－ステージ2－(2016～2019年度)」の最終年度となる今年度、当社グループは経営方針に「やり抜く力の発揮による変革の実行」を掲げ、最後まであきらめないマインドを持ち、目標達成に最大限注力するとともに、持続成長に向けた成長軌道の獲得に邁進しています。中核事業である医療用医薬品事業においては、グローバルな競争力があるオリジナル新薬の創製、切れ目のない新薬の創出、新薬による市場の創造を最重要課題として捉え、重点的に取り組んでいます。

損益の概要



また周辺事業の成長加速及びローコストオペレーションの全社的な推進により収益力の向上を図り、引き続き成果目標の達成とステークホルダーの皆さまからの支持、評価の向上に努めています。

当中間期における売上高は、医療用医薬品事業において新医薬品(国内)では主力製品の伸長、及び昨年度発売した製品の売上寄与があったものの、一部主力製品の供給一時停止の影響等により前年を下回る実績で推移しました。新医薬品(海外)では、導出品の売上が減少したことにより、前年を下回る実績で推移しました。他方、後発医薬品では、新たなオーソライズド・ジェネリック等の発売により売り上げは増加しましたが、医療用医薬品事業合計として減収となりました。ヘルスケア事業*の実績は横ばいで推移し、全体として売り上げは前年同期比20億61百万円減(前年同期比4.1%減)の482億99百万円となりました。

*環境衛生、一般用医薬品他

利益面では、売り上げの減少及び売上原価率の上昇により、売上総利益は前年同期に対して20億53百万円減少しました。販売費及び一般管理費は、前年同期に対して15百万円増加(うち、研究開発費1億60百万円増)し、営業利益は7億83百万円と前年同期比20億69百万円の減益(前年同期比72.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、8億34百万円(前年同期比62.4%減)となりました。



喘息治療配合剤
フルテフォーム



選択的β₂アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤
ペオーバ

なお、当中間配当金につきましては、1株につき、30円をお支払いさせていただきます。

医療用医薬品事業

■ 新医薬品 (国内)

杏林製薬(株)は特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)の医師、医療機関に営業活動を集中するFC(フランチャイズカスタマー)戦略をベースとした独自のエリアマネジメントによる営業活動を展開しました。当中間期におきましては、中期経営計画の重点戦略に掲げる「新薬群比率の向上」の実現に向けて、主力製品の普及の最大化に取り組みました。喘息治療配合剤「フルティフォーム」は順調に伸長し、2018年11月に新発売した選択的 β_3 アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤「ベオーバ」の売り上げも増加しました。また同年8月にMSD(株)より販売移管した定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤「ナゾネックス」が売上拡大に寄与しました。一方で、持続性選択H₁受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤「デザレックス」の一時的な供給停止の影響、及び長期収載品である気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」等の売上減少があり、売上高は309億49百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

なお、杏林製薬(株)における消費税増税に伴う薬価改定率は3%台となっています。



過活動膀胱治療剤
ウリトス



定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤
ナゾネックス

■ 新医薬品 (海外)

杏林製薬(株)において、広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米国アラガン社)」に関わる収入が前年を下回ったことから、売上高は3億90百万円(前年同期比35.5%減)となりました。

■ 後発(ジェネリック)医薬品

当社グループは、重点戦略として「特色を活かしたジェネリック事業の推進」を掲げ、オーソライズド・ジェネリック(AG)に積極的に取り組んでいます。当中間期においては、モメタゾン(ナゾネックスのAG)の発売による売上増加を主因として、売上高は141億66百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は455億05百万円(前年同期比4.4%減)となり、セグメント利益は4億91百万円(前年同期比81.6%減)となりました。

ヘルスケア事業

中期経営計画に掲げる育成戦略「環境衛生の事業成長と既存事業との連携強化により核となる事業を作る」を推進し、主要製品である環境除菌・洗浄剤「ルビスタ」は前年を上回る実績で推移し、当セグメントの売上高は27億93百万円(前年同期比0.5%増)となり、セグメント利益は2億25百万円(前年同期比739.7%増)となりました。

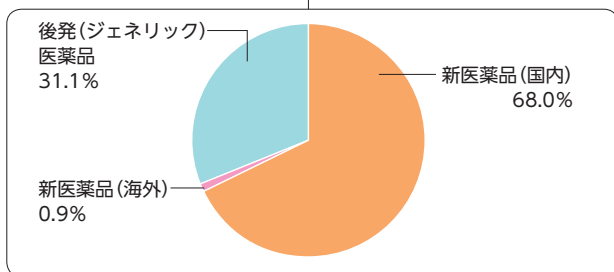
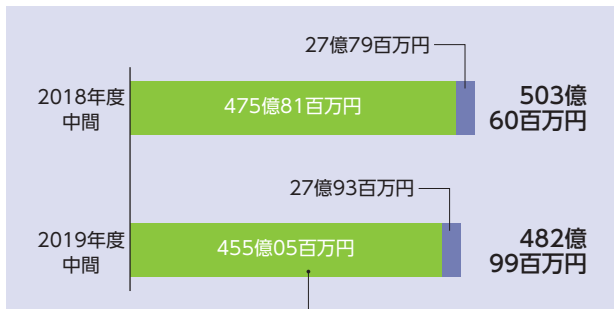


持続性選択H₁受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
デザレックス



環境除菌・洗浄剤
ルビスタ

セグメント別売上高 ■ 医療用医薬品事業 ■ ヘルスケア事業



研究開発の状況

新薬メーカーにとって、未だ数多く存在するアンメットメディカルニーズに応え、世界の人々の健康に貢献する革新的な新薬を継続的に創出し、届けることが使命です。杏林製薬(株)は、オリジナル新薬の創製こそが真の成長の原動力であるとの認識に基づき、自社創薬に国内外の製薬企業、アカデミア、ベンチャー企業とのオープンイノベーションを加えることで、既存の創薬プラットフォームのさらなる活性化を進めるとともに新技術(核酸、ペプチド、遺伝子治療など)の応用・育成に努めています。更に外部創薬テーマの積極的な探索・導入を行うことにより、ファースト・イン・クラス創薬に向けた活動を展開しています。

国内開発の進捗状況

厚生労働省に申請中のキノロン系経口抗菌剤「KRP-AM1977X(製品名:ラスビック錠75mg)」について、2019年9月に製造販売承認を取得しました。また申請準備中の段階にある3つの開発パイプライン(喘息治療配合剤「KRP-108P」、キノロン系注射用抗菌剤「KRP-AM1977Y」*、間質性膀胱炎治療剤「KRP-116D」)のうち、「KRP-108P(フルティフォーム小児適応拡大)」については、同年7月に製造販売承認申請を行いました。

*2019年10月、キノロン系注射用抗菌剤「KRP-AM1977Y」について、製造販売承認申請を行いました。

通期の見通し

当中間期の業績を勘案するとともに、新医薬品(国内)において、主力製品「デザレックス」の供給停止、新製品「ラスビック錠75mg」の発売遅延の要因により両製品の売り上げを見直し、以下の通り、2020年3月期連結業績予想(通期)を下方修正いたしました。なお、「デザレックス」の供給は11月に再開することとなり、「ラスビック錠75mg」も9月に製造販売承認を取得し今期中に発売が見込まれています。

2019年5月13日に公表しました配当予想(年間75円/株)の変更はございません。

2020年3月期連結業績予想(通期) (2019年11月7日公表)	
売上高	1,094億円 (前期比3.7%減)
営業利益	65億円 (前期比27.6%減)
経常利益	71億円 (前期比24.8%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	54億円 (前期比21.4%減)

▶▶▶ 主な開発品の動向 | Products under Development

(2019年11月7日現在)

Ph (フェーズ) I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階					
				フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認	
KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社	1日1回投与で有効性を示す(市中呼吸器 感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβ ラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐 性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への移 行性	国内					2019年9月
KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社	・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値 異常、光線過敏症、関節障害、消化器症 状などを引き起こす可能性は低い	国内					2019年10月
KRP-116D	間質性膀胱炎 治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外 薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	国内					申請準備中
KRP-108P	気管支喘息	英国 ベクチュラ社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の 小児適応拡大	国内					2019年7月
KRP-N118 (SK-1404)	夜間多尿による 夜間頻尿	(株)三和化学 研究所	バソプレシンV2受容体のアゴニストで、 腎臓の集合管で水の再吸収を促進して尿 量を減らす(抗利尿作用) 有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う 夜間頻尿治療薬として期待されている	国内					2018年8月
Ad-SGE-REIC	悪性胸腺中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制 遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。 がん細胞選択的アポトーシスと抗がん 免疫の活性化を誘導することが期待 される	国内					2018年6月
【導出品】									
FPR2作動薬 プログラム	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制 し抗炎症作用を示す	海外					米国プリストル・マイヤーズスクイブ社
KRP-203	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト	—					※再導出を検討中

開発プロセス の概要

フェーズⅠ

(第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象
に、安全性のテストを行う臨床試験

フェーズⅡ

(第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、
有効で安全な投薬量や投薬方法など
を確認する臨床試験

フェーズⅢ

(第Ⅲ相臨床試験)

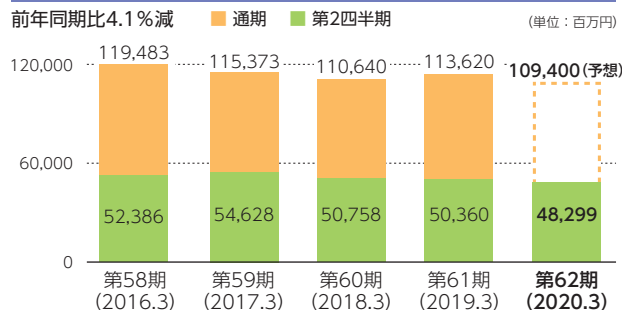
同意を得た多数の患者さんを対象に、
既存薬などと比較して新薬の有効性
及び安全性をチェックする臨床試験

申請

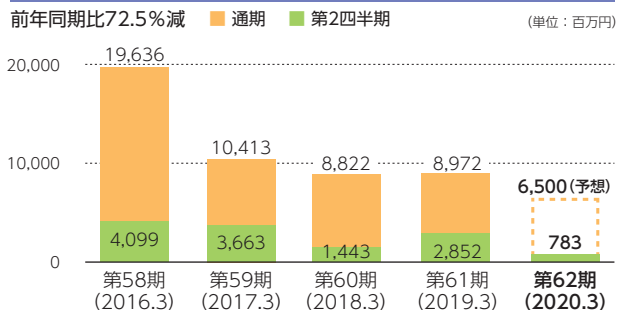
有効性・安全性が確認された新薬の
製造販売承認を厚生労働省に申請

▶▶ 連結財務ハイライト | Consolidated Financial Highlights

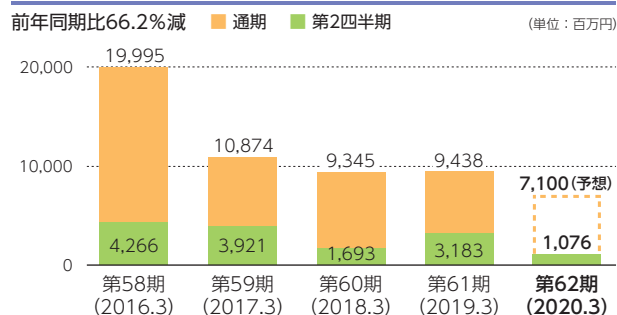
売上高 48,299百万円 ▶ 通期予想109,400百万円



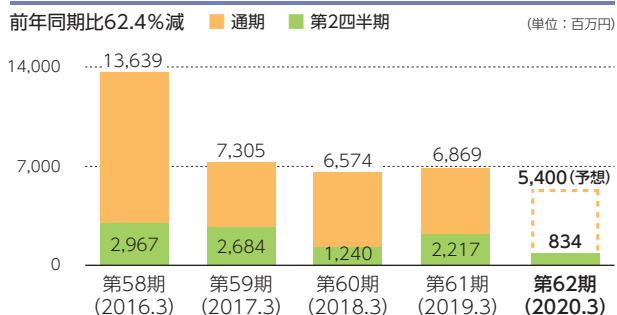
営業利益 783百万円 ▶ 通期予想6,500百万円



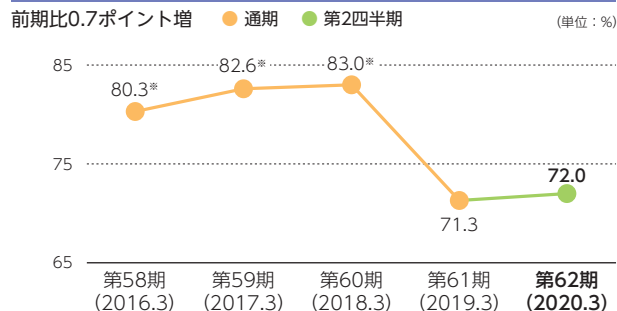
経常利益 1,076百万円 ▶ 通期予想7,100百万円



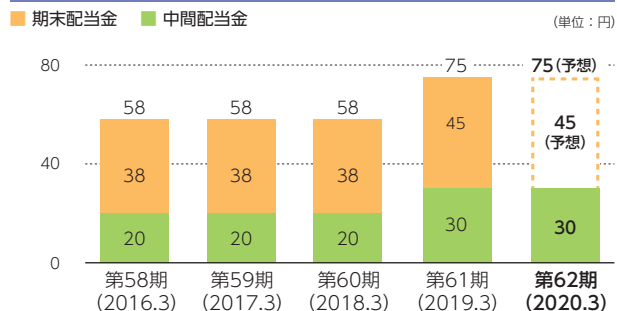
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 834百万円 ▶ 通期予想5,400百万円



自己資本比率 72.0%



配当金 30円 ▶ 年間配当金予想75円



*税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を基に算出しております。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	114,904	111,204
固定資産	58,130	54,690
有形固定資産	21,792	21,832
無形固定資産	3,401	3,212
投資その他の資産	32,936	29,645
資産合計	173,034	165,895
【負債の部】		
流動負債	41,480	39,203
固定負債	8,159	7,175
負債合計	49,639	46,379
【純資産の部】		
株主資本	116,744	114,963
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	128,999	127,217
自己株式	△17,707	△17,706
その他の包括利益累計額	6,651	4,552
純資産合計	123,395	119,516
負債純資産合計	173,034	165,895

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	50,360	48,299
売上原価	23,758	23,750
売上総利益	26,602	24,549
販売費及び一般管理費	23,749	23,765
営業利益	2,852	783
営業外収益	372	351
営業外費用	42	59
経常利益	3,183	1,076
特別利益	2	123
特別損失	73	21
税金等調整前四半期純利益	3,111	1,178
法人税、住民税及び事業税	611	354
法人税等調整額	282	△9
四半期純利益	2,217	834
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,217	834

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	7,297	14,652
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,185	△753
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,627	△2,993
現金及び現金同等物に 係る換算差額	205	△28
現金及び現金同等物の 増減額	1,689	10,876
現金及び現金同等物の 期首残高	42,971	30,914
現金及び現金同等物の 四半期末残高	44,660	41,790

▶ 会社概要

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
設立	1958年(昭和33年)
資本金	7億円
従業員	116名(連結2,292名)

▶ グループ会社(連結子会社)

杏林製薬株式会社	(東京都千代田区)
キョーリン リメディオ株式会社	(石川県金沢市)
キョーリン メディカルサプライ株式会社	(東京都千代田区)
キョーリン製薬グループ工場株式会社	(東京都千代田区)

▶ 株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	58,146,885株
	(自己株式6,461,051株を除く)
当中間期末株主数	7,583名

▶ 役員

取締役及び監査役	穂川 稔	みのろ
代表取締役会長	おぎはら 穂川 稔	ゆたか
代表取締役社長	おぎはら 荻原 豊	しげる
専務取締役	おぎはら 荻原 茂	けん
常務取締役	あくつ 阿久津 賢二	じ
取締役	ささき 笹原 富弥	や
取締役	おの た 大野田 道郎	みち
取締役	はぎはら 萩原 幸一郎	こういちろう
取締役	すぎはやし 杉林 まさ正	ひで
取締役(社外)	しか 鹿内 徳行	のり
取締役(社外)	しげまつ 重松 けん健	けん
取締役(社外)	わたなべ 渡邊 ひろ美	ひろ
常勤監査役	まつもと 松本 とみ春	とみ
常勤監査役	たまき 玉置 しゅう修	しゅう
監査役(社外)	お 小 ばた幡 まさ雅	まさ
監査役(社外)	やま 山 たく隆	たか
監査役(社外)	かめい 亀井 ひろ央	ひろ
		な お 裕

執行役員

上席執行役員	いとう 伊藤 とう洋	よう
執行役員	やすい 二井 康夫	やす
執行役員	おお 小 び 尾 紀 こう	こう
執行役員	はし 小 尾 紀 ひろし	ひろし
執行役員	しも 橋爪 爪 浩	ひろし
執行役員	かかわ 下川 川 泰 幸	やす
		き
		き
		き

キノロン系経口抗菌剤「ラスビック®錠75mg」の製造販売承認取得

杏林製薬(株)は、2019年9月20日、厚生労働省より、キノロン系経口抗菌剤「ラスビック®錠75mg」について製造販売承認を取得しました。

「ラスビック®錠75mg」は、呼吸器・耳鼻咽喉科領域感染症の新たな治療薬として杏林製薬(株)が創製した新規キノロン系合成抗菌薬です。本薬剤は、市中呼吸器感染症の主要な起炎菌に強い抗菌力を有し、加えて、近年市中肺炎の起炎菌として注目されている口腔レンサ球菌や嫌気性菌に対しても良好な活性を示します。また、肺及び耳鼻咽喉科組織への移行が良好であり、少ない投与量でも感染組織における有効な薬剤濃度を維持し、治療効果を示すという特徴を有します。

杏林製薬(株)は、「ラスビック®錠75mg」を特定領域である呼吸器・耳鼻咽喉科領域の製品ラインナップに加え、最新の情報提供を継続的に行うことにより、患者さんの治療に一層の貢献をしております。



マイクロ流路型遺伝子定量装置「GeneSoC®」を新発売

杏林製薬(株)は、2019年11月11日に「マイクロ流路型遺伝子定量装置GeneSoC®」(以下、「GeneSoC®」という)及び専用測定チップを研究用機器として新発売いたしました。GeneSoC®専用測定試薬については、順次発売を予定しています。

GeneSoC®は、国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、「産総研」という)が開発したマイクロ流路型サーマルサイクル技術*1を応用し、杏林製薬(株)が産総研と共同で開発した短時間(5~15分程度)で試料中のターゲット遺伝子を同定することができる、小型の超高速遺伝

子定量装置です。本装置は迅速・適確・簡便にヒト・動物・微生物の遺伝子や微生物が有する薬剤耐性遺伝子等を同定できる超高速遺伝子定量装置として、基礎・臨床研究ならびに感染症をはじめとする各種検査・診断分野への応用が期待されます。

杏林製薬(株)は、GeneSoC®を医療機器として届出し、専用の体外診断薬キットの発売を目指すとともに、GeneSoC®による診断事業によって、感染症の治療・診断・予防の事業モデルを確立し、感染症対策一層の貢献をしております。

「GeneSoC®」製品概要

- 超高速定量的PCR*2技術に基づく迅速な遺伝子検出(5~15分程度)
- POCT*3を見据え小型化された卓上PCR装置

※1 マイクロ流路型サーマルサイクル技術:複数のヒーター上に接した微小流路(専用測定チップ)内にて測定試料を繰り返し往復移動させることによってPCRを行う技術。なお、杏林製薬(株)は本技術に関する独占実施権を産総研より許諾されております

※2 PCR(Polymerase Chain Reaction):ポリメラーゼ連鎖反応のことで、遺伝子を増幅させる技術

※3 POCT(Point of Care Testing):ベッド(患者)サイドで医療従事者が行う検査



▶株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載紙	日本経済新聞

(ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。
株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんので
ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用
いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつき
ましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみ
ずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <https://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	企業理念・長期ビジョン、目指す企業像、中期経営計画 等
グループ事業	トップメッセージ、グループの歴史、グループの全体像、価値創造プロセス、事業の概要 等
株主・投資家情報	中期経営計画、研究開発パイプライン、財務・業績、IRライブラリ、株式情報 等
CSR活動、企業情報 等	

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4569

いいかふ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)を
進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ
[e-株主リサーチ事務局]

TEL : 03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)
MAIL : info@e-kabunushi.com

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

TEL:03-3525-4700(代)



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(削減)しています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

